

# 宮崎総合農試ニュース

2016年12月26日

本県オリジナルのイチゴ新品種「こいはるか」を育成しました

県内の冬春イチゴでは、現在、主に「さがほのか」が栽培されていますが、果実品質面では低温期に果皮色が薄くなったり、栽培面では炭そ病に弱いなどの課題がありました。

そのため、平成14年度より、炭そ病に強く、果皮色の濃い本県オリジナル品種の育成に取り組み、今回、炭そ病抵抗性を持った良食味の新品種「こいはるか」を品種登録出願しました（平成28年12月5日品種登録出願公表）。

「こいはるか」は、現在、県内産地で実証栽培を行っており、県内の一部のスーパー等では、試験販売も始まっています。

甘みだけではなく、適度な酸味も持ち合わせている‘濃い味’が特徴の「こいはるか」を是非一度ご賞味ください。



「こいはるか」の販売状況



「こいはるか」の栽培風景

問合せ先 宮崎県総合農業試験場 野菜部

〒 880-0212 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂5805番地

TEL 0985-73-2332 FAX 0985-73-2127

<http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/nosei/mae-station/sogonogyoshikenjo@pref.miyazaki.lg.jp>